

ブラフマニズムとヒンドゥイズム

南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性

第6回 シンポジウム

古代・中世インドの 王権と宗教

王座とブラフマン神

藤井 正人

ジャイナ教におけるクシャトリヤ観の一事例

河崎 豊

願望祭とヴェーダ期における社会秩序の維持

天野 恭子

仏教と王権：ブッダの始祖伝説からモンゴル王統史まで

山口 周子

血統、家系はなぜ重視されたのか：
祭官選任儀礼の整備を中心として

西村 直子

インド密教における灌頂次第とチベットへの伝達

菊谷 竜太

贖罪としてのアシュヴァメーダ

手嶋 英貴

ダルマ文献における司法論題の配置とその変遷

沼田 一郎



2019. 3/23(土)・24(日)

事前申込不要・参加無料

東京大学
本郷キャンパス

23日(土):13:00~17:30 / 24日(日):10:00~15:30

文学部 法文1号館 215 教室

お問合せ：電話 03-5841-3755 (東京大学文学部 インド語インド文学研究室)
メール: inbun@l.u-tokyo.ac.jp



主催：京都大学人文科学研究所共同研究「ブラフマニズムとヒンドゥイズム—南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性」(班長・藤井正人、副班長・手嶋英貴)
科学研究費補助金基盤研究B「ヴェーダからポスト・ヴェーダの宗教・文化の共通基盤と重層性の研究」(研究代表者・梶原三恵子 17H02268)
科学研究費補助金基盤研究B「南インド希少ヴェーダ学派の文献集成と翻訳研究」(研究代表者・藤井正人 25284011)

古代・中世インドの 王権と宗教

タイムスケジュール

23(土)		24(日)	
13:00	開会あいさつ	10:00~	講演
13:10~	講演	10:00-10:50	河崎 豊
13:10-14:00	藤井 正人	10:50-11:40	山口 周子
14:00-14:50	天野 恭子	11:40-13:00	昼休憩
14:50-15:00	小休憩	13:00-13:50	菊谷 竜太
15:00-15:50	西村 直子	13:50-14:40	沼田 一郎
15:50-16:40	手嶋 英貴	14:40-15:30	コメント、ディスカッション
16:40-17:30	コメント、ディスカッション	15:30	閉会



王座とブラフマン神

藤井 正人

『カウシータキ・ウパニシャッド』第1章に描かれるブラフマン神の世界と王座をめぐる、古代インドにおける王権と司祭権の関係を考える。

願望祭とヴェーダ期における 社会秩序の維持

天野 恭子

古代インド社会の変遷につれ、政治やその機能の担い手も変化を辿ったと考えられる。ヴェーダ期において社会秩序維持の役割を願望祭が担っていたことを考察する。

血統、家系はなぜ重視されたのか： 祭官選任儀礼の整備を中心として

西村 直子

ヴェーダの祭官選任儀礼が家系図を読み上げるものとして整備されてゆく過程を辿り、祭官階級を取り巻く状況、王族階級との関係、そして当時の社会を解明するための一助とする。

贖罪としてのアシュヴァメーダ

手嶋 英貴

アシュヴァメーダ(馬祀)は祭主の武力と権威を示す王権儀礼であるが、叙事詩や法典等ではむしろ「万能の贖罪儀礼」として性格づけられる。その觀念の発生と展開を明らかにする。

ジャイナ教における クシャトリア観の一事例

河崎 豊

空衣派ジャイナ教のジナセーナ作『アーディプラーナ』で、転輪王バラタが諸王に説示するクシャトリアのあり方(クシャトラヴリッティ)を瞥見し、その特徴を議論する。

仏教と王権：

ブッダの始祖伝説からモンゴル王統史まで

山口 周子

仏教の律文献とモンゴルの史書を取り上げ、仏教を受容した地域において、転輪王の系譜が「王の聖性」を裏付ける根拠として用いられていたことを紹介する。

インド密教における灌頂次第と チベットへの伝達

菊谷 竜太

ヨーガ階梯を中心に汎タントラ階梯の適用を目指した『ヴァジュラーヴァリー』灌頂次第の背景ならびにチベットにおける同書の伝承過程について曼荼羅の作例とともに考察する。

ダルマ文献における 司法論題の配置とその変遷

沼田 一郎

裁判・司法規定は『実利論』から『マヌ』⇒『ヤージュニャヴァルキヤ』⇒『ナーラダ』へと継承される。これに含まれる諸論題の構成原理とその内容的変遷を検討する。

東京大学

文学部 法文1号館 215教室

2019年3月23日(土)・24日(日)

アクセス：本郷三丁目駅(東京メトロ丸の内線/都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分
湯島/根津駅(東京メトロ千代田線) 徒歩8分
東大前駅(東京メトロ南北線) 徒歩1分

事前申込不要・参加無料

お問合せ：電 話 03-5841-3755 (東京大学文学部インド語インド文学研究室)
メール inbun@l.u-tokyo.ac.jp

主 催： 京都大学人文科学研究所共同研究(班長・藤井正人、副班長・手嶋英貴)
「ブラフマニズムとヒンドウイズム-南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性」
科学研究費補助金基盤研究(B) (代表・梶原三恵子 17H02268)
「ヴェーダからポスト・ヴェーダの宗教・文化の共通基盤と重層性の研究」
科学研究費補助金基盤研究(B) (代表・藤井正人 25284011)
「南インド希少ヴェーダ学派の文献集成と翻訳研究」